

## 男女共同参画・ダイバーシティの推進プロジェクト講演会

### 「ユネスコの提唱するインクルーシブ教育とダイバーシティ」開催報告

2015年6月30日に早稲田大学国際部長・国際学院の黒田一雄教授による公開講演会「ユネスコの提唱するインクルーシブ教育とダイバーシティ」が14号館402教室で行われ、100名を超える学生・教職員・一般の来場者が耳を傾けました。

冒頭、早稲田大学男女共同参画推進担当理事であり、Vision 150 男女共同参画・ダイバーシティの推進プロジェクトリーダーの畑恵子教授より「早稲田大学『Waseda Vision 150』では、真のグローバル化を進めるために、教育・研修・就労に関わる人の多様化を目指している、そこで大学におけるダイバーシティの理念を明確にする



ため、黒田教授よりユネスコの提唱するインクルーシブ教育の観点から『大学教育におけるダイバーシティ』についてご講演いただくこととなった」と、講演会の目的と開催の意義が話されました。



講演では、まず専門分野である途上国におけるインクルーシブ教育の現状について、実際の教育現場の写真をもとに紹介されました。ユネスコでは、インクルーシブ教育は学習の質を高める戦略として位置付けられていること、実証研究として学力向上の効果が認められており、ダイバーシティが学力形成への鍵となる大きな可能性があると言われました。

経営学において、ダイバーシティはイノベーションにつながっているという研究結果が出ており、このことから大学においてダイバーシティ推進はイノベーションをもたらし、大学の付加価値を高める可能性があると言われ、違った考え方の人の力を組織に入れていく多様性の推進の必要性をしめされた講演会となりました。

